

YouTube 視聴から得られる日本古代史に関する様々な仮説 ～日本古代史学におけるアマチュアリズムについて～

高見 友幸

大阪電気通信大学 総合情報学部

キーワード：YouTube, 初期平安京, 唐長安城, 上石津ミサンザイ古墳, 隅田八幡神社鏡

1 概要

日本古代史の研究に今や YouTube 動画の視聴は欠かせない。著者が現時点で注目している日本古代史 YouTube チャンネルの 3 例を図 1 に示した。これらのチャンネル以外にも「八俣遠呂智」「papa さん」等々いくつもの注目すべきチャンネルがあるが、別の機会に譲りたい。図 1 の YouTube サムネイル画面の URL は、次のとおりである。

1) 武田晴樹 燃え盛るように熱い日本古代史

<https://www.youtube.com/channel/UC4PcyWRG6H0zrLIEJNLCuyA>

2) 古代史新説チャンネル：

<https://www.youtube.com/channel/UC1BIfkA-jFZlZA2M00VgJSQ>

3) 地図をなぞって日本古代史を考える

https://www.youtube.com/channel/UCeikmp_A00GxccU3YlYNneA

副題の「アマチュアリズム」には次の意味を含ませた。a) 日本古代史関連の学術団体で学会発表がなされていない状況のもと、b) 独自に古代史研究が行われ、c) 関連学会での検討がほとんどなされていないアイデア、研究手法、結論の導き方のことを指している。

本発表では、上記 YouTube チャンネルで公開されている「アマチュアリズム」に溢れた説のいくつかを紹介する。大胆で魅力的な説であるが、学術論文での引用はないと思われる。学術団体で積極的に取り上げるべきではないだろうか。

2 補足

「アマチュアリズム」という語句を、著者が最初に用いたのは、都城の復原についての論文中的

『・・・(前略)・・・当然ながら、このような手法は古代史学に見られるアマチュアリズムであって学術ではない。ところが、得られた復原の結果には数値的完全性が現れる。こうした完全性が現れる以上、手法云々の問題は不問に付してよいと考えた次第である』という文章である。文献史学の方法論や考古学の知見を重要視しないという点において、自身もまたアマチュアリズムの中にある。そのため、YouTube 発信の仮説に対しての拒否感はなく、学術論文を読むように動画を視聴することができるということなのだろう。



図 1. YouTube 動画のサムネイル画面。

参考文献

- [1] 高見友幸, 唐長安城の復原 ～初期平安京の正方形仮説～, IIARS 論文誌 vol.5, 26-33, 2022.